

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

子どもの人権

対象学年・
取り扱った教科等

中学3年生・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・自分の気持ちや意見や考えを、正直に、率直に、その場にふさわしい方法で表現することで、自分も相手も大切にしようとする人権意識を育てる。

実施した内容

- ・自己表現の3つのパターンを知り、日頃自分はどのパターンかふりかえさせる。
- ・どの気持ちも、自分にとって大切な気持ちであること、怒りも自分にとって自分自身が大切な存在であることを教えてくれる大切な感情であることを理解させる。
- ・アサーティブな表現方法は、自分も相手も尊重する方法であることを理解させ、練習させる。

工夫した点

- ・アサーティブな表現にするコツを例示して教えた。（「私は」を主語にすること、自分の希望・提案をはっきり伝えること）
- ・提案は結論ではなく、話合いのスタートであるので、自分の提案どおりの結果になるとはかぎらないことを理解させた。
- ・自分の気持ちをごまかしたり、うそをつかないことが大切であることを理解させた。

他教科との
関連

- ・「社会（公民分野）」で「生存権」「基本的人権」について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

① 女性

対象学年・
取り扱った教科等

3年・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・「男はこうあるべき（こんなもの）」「女はこうあるべき（こんなもの）」という「きめつけ」や「しぼり」をジェンダーバイアスということを知る。
- ・ジェンダーバイアスにしばられる社会は、だれにとっても生きづらいことを知る。

実施した内容

- ・「たまたま女に生まれただけ」という読み物を読んで、性別による「きめつけ」や「しぼり」のおかしさを考える。
- ・選択的夫婦別姓について、考えさせる。
- ・自分らしさが大切にされる社会にしていくことを理解させる。

工夫した点

- ・日常で感じてきたジェンダーバイアスを冒頭に出し合った。
- ・「男らしさ」で男性も苦しい思いをしていることを、理解させた。
- ・女性議員の極端な少なさ等の背景にジェンダーバイアスがあり、女性の社会進出の妨げとなっていることや、社会の中の様々な制度やしくみが改善しないと男女の格差はうまらないこと等を考えさせた。

他教科との
関連

社会科：公民「男女共同参画法」について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

② 高齢者

対象学年・
取り扱った教科等

1年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・体験的な活動を通して、よりよい関わりをするためにはどのようにすればよいかを自分たちで考え行動することで、だれに対しても思いやりの心をもって接する意識をもつ。
- ・高齢者への理解を深め、よりよい高齢者との生活について考える。

実施した内容

- ・高齢者を理解し、思いやりの心をもって高齢者と楽しく交流する計画をたてる。
- ・高齢者の疑似体験グッズを実際に着用し、高齢者について考える。

工夫した点

- ・高齢者の疑似体験グッズを実際に着用させて、体験させることで、高齢者について理解を深めさせた。
- ・私たちの地域の中の身近な人権問題に目を向けさせ、主体的に考え解決策を考えさせた。
- ・自分の祖父母に話を聞くなどして、高齢者に喜んでもらうために、自分にできることは何かを考えさせた。

他教科との
関連

- ・技術・家庭科（家庭分野）：家族・家庭や地域との関わりを学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

③ 障害者

対象学年・
取り扱った教科等

1年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・障害のある人を支えるかかわりや設備について調べたり，交流したり考えたりする活動を通して，共生についての見方や考え方を広げ，相手の気持ちを考えながら関わっていこうとする。
- ・障害のある人の思いに寄り添ったかかわり合いについて体験したり，考えたりしたことを，総合的に活用しながら交流活動に取り組もうとする。

実施した内容

- ・特別支援学校の生徒への理解を深め，思いやりの心をもって楽しく交流する計画をたてる。
- ・障害者の疑似体験グッズを実際に着用し，障害者について考える。

工夫した点

- ・障害者の疑似体験グッズを実際に着用させて，体験させることで，障害者について理解を深めさせた。
- ・交流する際に配慮すること，一人一人が意識することを特別支援学校の先生の話聞きながら，障害の特性について理解させた。

他教科との
関連

- ・美術科：ユニバーサルデザインについて学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

④ 同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

2年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

・どのような社会のしくみや人々の意識が部落差別を温存してきたかを考え、差別をなくす主体となる意欲を育てる。

実施した内容

1時：身近な例を通して偏見・差別とは何かを考え、差別は日常生活・人生・命を奪うことがあることや人権侵害であることを理解する。
2時：太鼓作りの実演と講話をとおして、部落差別の根底にある「けがれ意識」のおかしさや、牛の命や太鼓づくりへの太鼓職人の思いを知る。

工夫した点

・講演後、事後学習として、NHKの番組を視聴し、差別の現実に苦悩しながらも、差別解消・人権確立にむけて前に進もうとしている被差別部落の人々の姿を知る。差別をなくすために自分にできることはなにかを考えさせた。

他教科との
関連

社会科歴史：公民，保健体育「エイサー（太鼓）」，人権学習「職業差別」について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

⑤ アイヌの人々

対象学年・
取り扱った教科等

2年・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・アイヌ民族に対する偏見や差別の原因や独自の文化について理解し考える。
- ・一面的な見方で他人を決めつけようとする意識を改善するための実践策を考え、主体的に行動しようとする事ができる。

実施した内容

- ・実際にあったアイヌ民族の結婚差別について、読み物資料を通して、差別や偏見について考える。

工夫した点

- ・事前学習として、2年生の地理の北海道地方でアイヌ文化について学習を行い、理解を深めてから、授業を行った。
- ・写真や動画を活用しながら視覚的にわかりやすく説明を行った。
- ・ディベート活動を取り入れ、結婚を反対された理由を様々な視点から考えさせ、多様な価値観に触れさせた。

他教科との
関連

- ・2年生の社会：地理分野の北海道地方でアイヌ文化について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

⑥ 外国人

対象学年・
取り扱った教科等

1年・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・ 区別と差別の違いは合理性の有無にあることに気づかせ、合理性のない差別は認められないことを理解する。
- ・ 外国人との共生で、お互いが快適に生活できる環境づくりのための工夫について考える。

実施した内容

- ・ 町営公衆浴場における外国人の入浴拒否の問題を取り上げ、人権問題について考える。

工夫した点

- ・ 区別と差別の違いを考えさせるために、いくつか事例をあげて○×で考えさせた。
- ・ 社会科と連携し事前学習で、国際人権規約や人種差別撤廃条約、憲法第14条などにより、人種差別は禁止されていること学習した。
- ・ 私たちができる外国人と共生の方法を考えたり、生活文化の違いを乗り越える工夫を考えさたりして、解決策を検討させた。

他教科との
関連

「社会（公民分野）」で平等権、市民権について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

⑦-1 HIV感染者

対象学年・
取り扱った教科等

3年生
総合的な学習の時間、朝の活動（朝読書）

目標・人権教育のねらい

- ・命の尊さ、人の思いを感じ、偏見や差別の愚かさを知ることができる。
- ・エイズへの偏見や差別がどのようにしてつくられ、助長されていったのか理解することができる。
- ・将来に夢を持ち、自分らしい生き方を考えることができる。

実施した内容

- ・自作の資料（PPT）や厚生労働省のパンフレットを用いて、歴史的背景や元患者やご家族の思いについて深く考えさせた。
- ・偏見をもつのではなく、様々な情報に対して正しい知識をもつことの大切さをおさえ、元ハンセン病患者の話聞くことで、その人たちの本当の思いや願いを感じ取らせた。

工夫した点

- ・PPTを使って視覚的にわかりやすく説明を行った。
- ・孤独な闘いを強いられ、血友病と共に生き、血液製剤により感染して、19歳で亡くなった、岩崎孝祥さんの母、和美さんの手記を読み、感想を伝え合う。
- ・グループで話し合うことで、偏見や差別が生じる背景や、エイズパニックの問題点を深く考えさせた。

他教科との
関連

- ・「保健体育（保健分野）」の性感染症（HIV等）について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

⑦-2 ハンセン病患者等

対象学年・
取り扱った教科等

1, 2年生
総合的な学習の時間, 朝の活動(朝読書)

目標・人権教育のねらい

- ・ハンセン病はどのような病気なのか知る。
- ・偏見や差別がどのようにして生まれたか学ぶ。
- ・元患者はどのようにして生きてきたかを学ぶ。
- ・正しい知識や判断力を見に付ける。

実施した内容

- ・自作の資料(PPT)や厚生労働省のパンフレットを用いて、歴史的背景や元患者やご家族の思いについて深く考えさせた。
- ・偏見をもつのではなく、様々な情報に対して正しい知識をもつことの大切さをおさえ、元ハンセン病患者の話聞くことで、その人たちの本当の思いや願いを感じ取らせた。

工夫した点

- ・PPTを使って視覚的にわかりやすく説明を行った。
- ・授業後の、朝読書の時間に元患者さんの書かれた「時の響きて」の読み聞かせを行い、事後指導を行った。
- ・パンフレットの中の「～ハンセン病療養所・社会復帰者の家族の声や、関係者のコメント～」を読みながら、それぞれの「思いや気持ち」について深く考えさせた。

他教科との
関連

- ・道徳：ハンセン病の向こう側(厚生労働省)について学習した。

令和2.3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

⑧ 刑を終えて出所した人

対象学年・
取り扱った教科等

3年・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・過去の失敗や他者の考えなどで、相手の人となりを見誤ってしまうという偏った見方をしていることに気付き、誰もが暮らしやすい居場所をつくり、みんなが安心して生活を送るためには、現在のその人の頑張りを正しく見て、接していこうとする態度を培う。

実施した内容

- ・刑を終えて出所した方の社会復帰の困難さやそこに生ずる差別について、読み物資料（実話）を通して、差別や偏見について考える。

工夫した点

- ・「罪を犯した人」ではなく、「更生して社会復帰を目指している人」と捉えさせるために、現在に焦点を当てて考えさせた。
- ・ディベート活動を取り入れ、誰もが暮らしやすい居場所をつくるための実践策をもっと様々な視点から考えさせ、多様な価値観に触れさせた。

他教科との
関連

- ・社会科にて、基本的人権について学習した。

令和2.3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

⑨ 犯罪被害者等

対象学年・
取り扱った教科等

2年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・犯罪被害者やその家族・遺族は、被害に遭ったことで大きなショックを受け、苦しみ、悲しんでいることを理解する。
- ・犯罪被害者は、直接当該の犯罪行為によって被害を受け、心身ともに傷つくだけでなく、事件後には、周囲の無理解等から生じる「二次的被害」を被ることがあることを学ぶ。
- ・犯罪被害者への支援を社会全体で行っていかこうとする取組が進んでいることを理解する。

実施した内容

- ・「友達が被害者になったら」DVD教材を通して、犯罪被害者が抱える問題について考える。

工夫した点

- ・テレビで報道される「犯罪」について、加害者側の状況に焦点が当てられているが被害者についてはあまり話題にあがらない点について深く考えさせた。
- ・犯罪によって直接被害を受けた人だけでなく、その家族や遺族も被害者であること、2次被害について深く考えさせた。

他教科との
関連

- ・保健体育(保健分野)：犯罪被害の防止について学んだ。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

⑩インターネット上の人権侵害問題

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・インターネットを利用する上での人権侵害等のトラブル防止やSNSとの適切な付き合い方について理解する。
- ・インターネット等を使用する際は、親とルールを決めることや、正しい情報選択・判断をして、メディアとの上手な付き合い方について考える。

実施した内容

- ・最近のSNSにまつわるトラブルの状況について具体的な事例を上げてわかりやすく話をしていただいた。
- ・インターネット上の誹謗中傷、差別書込みや誤った情報は、いったん掲載されると、削除が困難であることが多く、被害が深刻なものとなり、大きな問題となることもある。近年では、様々な誹謗中傷から自殺まで追い込まれた事案もある。

工夫した点

- ・PTS教育講演会ということで、生徒、保護者、職員に参加をしてもらい、特に家族でSNSを使う上でのルール・マナーについて考えてもらう機会とした。
- ・中学生が日頃実際に使っているSNSやTwitterの事例を紹介してもらい、ネットに情報を書き込む場合は、慎重に言葉を選んで発信していく必要があることや、未成年でも中学生でも最終的には自己責任になるということを分かりやすく説明してもらった。

他教科との
関連

- ・技術分野（第2学年）の情報に関する技術「ネットワークと情報セキュリティ」の中で、情報を発信する上でのモラルについて学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

⑪北朝鮮当局による拉致問題等

対象学年・
取り扱った教科等

3年・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・ 拉致は重大な人権侵害であることを理解させる。
- ・ 拉致問題の解決のため、日本政府が積極的に動く必要があることを理解させる。
- ・ 北朝鮮という国家の行為とその国の人々とは切り離して考える必要性を理解させる。

実施した内容

- ・ 拉致問題啓発アニメ「めぐみ」を視聴する。
- ・ 在日コリアン、朝鮮半島出身者へのヘイトスピーチ・デモを特集した番組を視聴する。

工夫した点

- ・ 「めぐみ」の視聴後、めぐみさん本人や親の思いを想像させ、拉致は平穏な日常をある日突然奪う重大な人権侵害であることを理解させた。
- ・ ヘイトスピーチ解消法が生まれた背景を動画で理解させ、北朝鮮への嫌悪や拉致問題未解決への焦燥感が、別な重大な人権侵害を生む危険性を考えさせた。

他教科との
関連

- ・ 社会科歴史「日本と朝鮮半島の歴史」、公民「生存権」「基本的人権」について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

南さつま市立金峰中学校

人権課題

⑫ 性的指向・性自認

対象学年・
取り扱った教科等

1年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・自分自身を含む性の多様性について学習し、自分らしさ、自分自身を大切にしようとする態度を育てる。
- ・多様性の尊重につながる学習を通し、多様な性の在り方について理解を深める。
- ・性の在り方における少数派について考え、共に生きていく意識を育てる。

実施した内容

- ・各学級において、有名人を例に取り上げながら、違いを認めあうことや個人の尊厳等について理解を深める。（1時間）
- ・LGBT-JAPAN九州から講師を招聘して話を聴く。性的マイノリティの人権について理解を深める（1時間）
- ・事前学習や講演を聴いて学んだことをまとめ、交流する。（1時間）

工夫した点

- ・性的マイノリティ当事者に講話をしてもらうことにより、当事者の思いを共感的に理解させることで、正しい知識や理解が、差別や偏見を未然に防止し、多様性を認めあう意識を育てることにつながるようにした。
- ・生徒の良き理解者でもある保護者にも性的指向及び性自認の多様性について理解を深めてもらうために、講話に参加する機会とした。

他教科との
関連

- ・保健体育（保健分野）の授業で、性とどう向き合うかについて学習した。